



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地
048(295)4102 FAX 048(295)5661
URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



- ・心身ともにたくましい生徒
- ・自ら進んで学ぶ生徒
- ・豊かな情操を培う生徒

令和6年 修了式にあたって

校長 鈴木 玲

3月に入って関東南部でも雪が降ったかと思えば、この数日は暖かい日が続いたりもして、ゆっくりとではありますが春の訪れを感じるようになりました。暦の上では既に春を迎え、令和6年度もいよいよ本日、修了式となります。

去る3月14日(金)には第41回卒業証書授与式が執り行われ、151名が在家中を巣立っていきました。9年間の義務教育を終え、これから様々な道を歩みながら社会の一員となっていく卒業生たちに対し、その式辞の中で「一生のうちに得られる経験や知識は世の中のほんの一部なのだ」とすれば、世界中の誰もが『井の中の蛙』に過ぎない」という話をしました。そして、「私たちはどう生きるのか、そのことをそれぞれ考えて欲しい」と伝えました。

「井の中の蛙 大海を知らず されど空の深さを知る」自分にはまだ知らない世界があると自覚し、それを求めて広い海を目指すのか。狭い世界で あっても、その世界を極めようと一途に努力を続けるのか。どちらの道を選ぶのか、それは、これから自分自身の力で自分自身の人生を生きるみなさんが、時間をかけて答えに辿り着けば良いのです。今、井の中にいる蛙は、多様な可能性を秘めています。それぞれの道を選んだからには、自分の思いと力を信じ、ポジティブに挑戦し続けてください。(令和6年度 川口市立在家中中学校 第41回 卒業証書授与式 校長式辞より)

「井の中の蛙」という言葉からは、世間知らずで自分のもつ限られた知識や経験でしか物事を判断できない愚かさを感じます。ですが、「広い世界を知らない」自分は本当に愚かなのか、視点を変えればポジティブに捉えることもできるのではないかと思ったのです。大切なのは自分が「井の中の蛙」であることを自覚し、謙虚に学ぼうとする姿勢ではないのでしょうか？ また、今はまだ知らない世界も、その世界を想像することで先へと進む楽しみや勇気が湧いてくるように思えるのです。卒業生はこれから進む次の道で、1・2年生は4月から一つ上がるそれぞれの学年で知る少しだけ新しい世界の景色を自分のものにして欲しいのです。

一方で、狭い世界でしか見えないものや感じられないこと、今しか経験できない物事も大切にし、そのフィールドで自分らしさを磨いても欲しいと、令和7年度からのみなさんに期待します。



令和6年度、最後の「在家中だより」になります。保護者、地域の皆様には一年間、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今、世の中は様々な分野で急速かつ激しい変化が進んでいます。大学入試も新課程に移行し、社会が求める能力の捉えが変わってきています。そして、その変化は高校や中学校も同様です。また、中学校の部活動地域移行も川口市として進められるスケジュールが見えてきました。その他にも時代の流れによって、これまで当然のように行ってきた教育活動を大きく変えていかざるを得なくなるでしょう。このような変化に対応するため、保護者の皆様にはこれまで以上にご協力のお願いが増えるかもしれません。子供たちの活躍の場を広げ、将来に向けた成長を支援するために、来年度も引き続き在家中中学校へのご理解とご協力をお願いいたします。